

今、大山を超えよ

浦和南高等学校
進路指導部通信

2021 年 11月15 日
発行 第 7 号

進路指導主事より

『チーム南高』で、みんなで支え合い、高みを目指し、伸びていく集団に！

11月に入り、3年次は、いよいよ総合型選抜の試験や学校推薦型選抜の出願が始まりました。今、その合格に向け、面接・小論文対策等、頑張っているところですね。面接では、緊張もあるかと思いますが、ぜひ、「**その学校で学びたい熱意や自分のいいところ**」をたくさんアピールしてきてください！ また、一般選抜を目指す生徒は、**これまでのたくさん受けてきた模試や考査をきちんと振り返り、自分のウイークポイントと見つめ直して、レベルアップを図ってください。**

ここで、『**チーム南高**』という言葉について考えてみましょう。高校は、クラス、年次、授業、部活動、委員会、生徒会、そして学校と、いろんな集団の中で活動しています。その中で、部活動を例にすると、「**●●大会優勝！**」や「**ベスト●●！**」などの目標がある場合、達成するために、**その目標に向かって努力し、切磋琢磨し、励まし支え合う、「高みを目指し伸びる集団」**となっていると思います。高みを目指すことで成長し、目標にも近づくことができます。また、不安や失敗があっても励まし支え合うことができます。仲間と一緒にだから、共に力強く前に進むことができます。これは、勉強や受験でも言えることだと思います。「第1志望合格に向け頑張ろう！」「みんなで勉強頑張ろう！」という前向き集団なら、全体で伸びて行けます。逆に、後ろ向きで、みんなで足を引っ張り合えば、伸びていくことはできません。

雰囲気・環境の力は大きいし、大切ですよね。勉強でも、「みんなで**●●得意になっちゃおう！**」とか、友達と問題に対して議論したり教え合ったりすれば、学びが深まったり、アウトプットの練習にもなります。

「共に頑張る仲間がいる。」 みなさん一人ひとりが、その「雰囲気・環境」をつくる一員です。このことを意識し、『**チーム南高**』でそれぞれの夢を実現していきましょう！

(福田)

★進路通信 配信方法の一部変更について★

11月号から、紙でほしい方向けに、教室で持ち帰り用の配布を行ってます(クラスごと白黒15部)。

進路室前でも余剰を配布しますので、ご利用ください。

カラーで手元に欲しい方は、各自ご家庭で印刷をしてくださいますよう、お願いします。

模試/試験

2021 年 11 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 ①② 進研 記述	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21 ③ 全統 模試	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

1/11(月) 1年次進研記述

1/25(火) 2年次進研記述

2021 年 12 月～

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1/1
2	3	4	5	6	7	8

2022.1.15(土)
～16(日)
大学入試
共通テスト
本番まで
(11/15 現在)
あと

60 日

各学年進路より

さあ南高生よ、今こそ大山を超え福をつかめ！！

1年 <進路担当:守屋先生、開米先生、豊田先生>

中間考查が終わったと思ったらあっという間にベネッセ模試がありましたね。みなさんはしっかり準備をした上で取り組めたでしょうか？立て続けに学力テストがありましたが、このような進路日程は当たり前であり、今後は皆さんが、この日程に適応しなくてははいけません。定期考查が終わって一息ついたかった、部活が再開したから準備ができなかった、など思う人がいるかもしれません。しかし振り返ってみると、定期考查も落ち着いた模試までの1週間はもっと準備できたのではないのでしょうか？改めて**もう一度、自分の生活を振り返ってみてください**。本気で皆さんが進学を考えているなら1年生のこの段階から入試に向けての意識を高めて模試に取り組む必要があります。1年生で受験する模試は次がラストです。学校で学んだことを外部のテストで発揮する貴重な機会、この機会を大切にしてください。

すでに入学してから半年がたち、来年の今頃には受験に向けて動いていきます。後日模試の結果が返ってきますが、皆さんがしっかり模試に取り組むことで、より結果に対する分析を具体的にを行うことができます。最後に当たり前な大事なことを言います。定期考查にも繋がることです、**日々の授業時間内で確実に知識を身に付けていきましょう！！**

2年 <進路担当:秋元先生、阿部先生、山崎先生>

11月24日から2年次は研修旅行で九州へ行きます。生徒の様子を見ていると仲間と一緒に事前学習を行ったり班活動の行程を考えたりする時間は、とても大切な時間なのだと実感しています。改めて日常に感謝し、旅行を支えていただいている人への感謝の気持ちを忘れず、充実した旅行になればと思います。そして、この研修旅行を**進路に向けての大きな転換点**であると位置づけてほしいです。いわゆる「受験生宣言」のきっかけが研修旅行です。研修旅行が終わると12月です。来年の自分はこの時期何をしなければいけないのか想像力を働かせてください。いつも言っていますが、3年生の動向を常に把握しておくことです。3年生の動きは「進路のしおり」に書かれています。分からないではなく、知ろうとすることが大切です。この時期に想像力を働かせて、なりたい自分を思い描くことで、みなさんが卒業するときの道筋が少しずつ見えてきます。具体的に知ろうとすれば、情報はいくらでも転がっています。研修旅行では大いに語り、大いに学び、そして、その後の自分を奮い立たせる機会としてください。

最後に、11月4日のベネッセ総合学力テストお疲れさま。5教科6科目で17時過ぎまでの試験ということで、これまでのテストより一気にハードルが上がったと思います。これもこの時期に必要なことです。実際に理社の試験を行うことで、より入試を意識できたのではないのでしょうか。結果もそうですが、ここでも、これが受験のスタートだということを意識してもらいたいと思います。

3年 <進路担当:西川先生、永井先生、奥田先生>

全体として受ける模試があと一つ(11月21日実施 河合プレ)のところまで来てしまいましたね。この模試は、最初で最後の会場受験になります。今までは学校受験だったので、行き方も会場の雰囲気も分かっていたと思いますが、今回は違います。当日は余裕をもって会場に向かい、良い意味での緊張感で臨んでください。模試の結果も返されてきています。自分の実力と向き合って、実際にどのような入試方法で受けるのか、どれだけお金がかかるのか、期日はいつなのか、真剣に考えてみてください。すでに受験カレンダー作成のプリントが配られているかと思いますが、**安易な選択をしないこと！必ず家の人と相談すること！**受験でお金がかかるのは当然ですが、浪人できるのか、一人暮らしをするのか、入学してからのことまでよく話し合ってください。進路決定は自分ひとりでするものではありません。いつも支えてくれている家族に感謝の気持ちを忘れずに試験に臨んでいきましょう。

そして最後に、12月上旬には期末テストです。**学校の授業と受験はつながりのあるもの**だと思います。学校の授業の内容は受験勉強するにあたって基礎・基本になります。しっかり取り組みましょう。

授業で蓄えた力 11月特集 模試の活用 これから・ここから

「模試の過去問、ありませんか？」

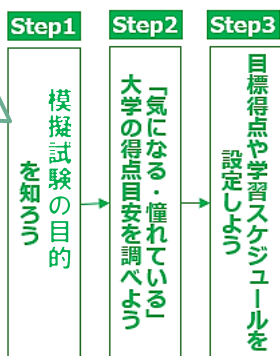
一年生にとっては初めての本格的な記述式模試を控えた夕方、一人の生徒がたずねてきました。聞けば、オンラインで配信された問題は解き終えたので、2、3年前の問題にも目を通したいとのこと。「あるよ！教科ごとに冊子で解説もまとめられているから、コピー取って行って！」

いやあ、熱心だなーと感心したのですが、ふと思ったのです。
(もしかして、ほとんどの生徒がこの事実を知らないのでは……?)

というわけで今回は、模試の活用について！Benesse High School Online 提供資料を一部交えてお伝えします。

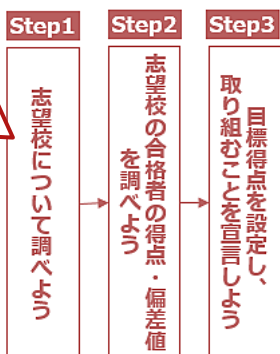
1 年生の事前準備 GOAL

- ★「気になる・知っている・懂れている」大学を調べ、得点目安を知る
- +α ★ 目標点を設定し、達成のために取り組める

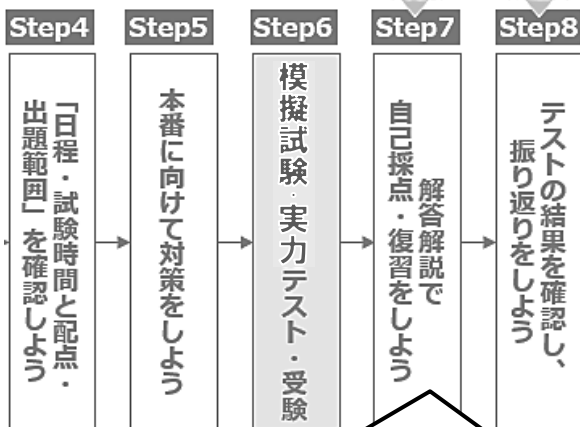


2 年生の事前準備 GOAL

- ★できるだけ多くの志望校情報を集め、進路選択の幅を広げている
- +α ★ 志望校に合格した先輩の2年同月のテストの平均点を把握している



模試実施から返却後までの 8ステップ



鉄は熱いうちに打て！
自分が回答した内容を覚えているうちに、
解答解説冊子で見直しをしよう！
本番までに**伸ばすべき分野**を見定めよう。

2年は、理科・社会の得意/不得意分野の把握もしっかり行おう。これからの授業で、どれだけ積み重ねられるか。大きな武器にできる余地も準備時間も、まだまだある！

最も重要なのは、日々の授業で力を蓄えられるかどうか。定期考査でスモールステップの知識把握、長期の記憶定着として模試へ向けた学習を継続して行うことができれば、ぐんぐん力が付いていく。

模試を受験しているのは、全国の同世代。その中で自分がどの位置にいるのかを客観的に把握し、本番までの対策を計画するためのもの。共通テストまで、**1年生はあと790日**、**2年生はあと425日**。ここから先、どの教科科目を伸ばすか……自分の人生に、将来に必要な力は何なのか……しっかりと見定める指標となります。

これまでの人生で通ってきた学校の授業で培った力が試されるのが、模試だと心得て取り組もう！

Q.どうやって気になる学校や分野を調べるの？

A. 先生方、進路室や図書館にぜひ相談を！調べ方のプロと並居る本がお待ちしています。

Q.実際受験する学校の決め方、どうすれば…？

A.最後はあなたの心です。が、決め手を見極めるには、「比較すべき部分」を頭に入れた上で、実際オープンキャンパスへ！

Q.大学生目線の話を知りたいです！

A.「合格サプリ」読みましたか？まだ手元に届いていないクラスの方は、資料室へ！



3年生の模試活用 GOAL ★受験校決定のための分析に活用する★

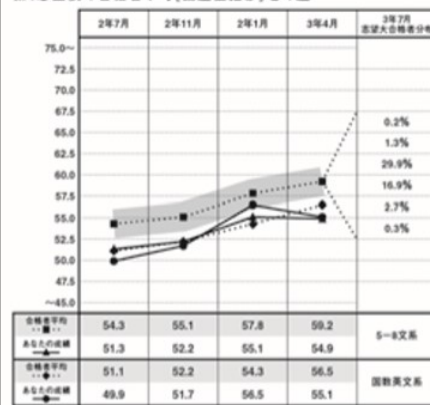
成績推移表には、過去合格した生徒の平均が常に載っている。自分の成績を分野別にみて、これからはどこを伸ばせるか(『のびしろ』の把握)。記述とマークの現時点の、実力バランス(ドッキング判定結果)を確認し、残りの期間で何を完成させるか計画を見直そう。

特に、第一志望校は共通テストと個別試験、どちらの比重が大きいのかを調べた上で、今後の学習計画を調整しよう。

推薦など早期の入試で受験が終わったとしても、全国レベルで見た時、入学した生徒の中で自分がどの位置にいるかを判断する基準になるのが、模試の成績だ。入学まで自分を磨く材料として、活用しよう。

「成績推移」

第1志望校の合格者平均[偏差値推移]との差



合格生徒の平均と自分の平均点が比較できる。グレーは合格者の得点分布。

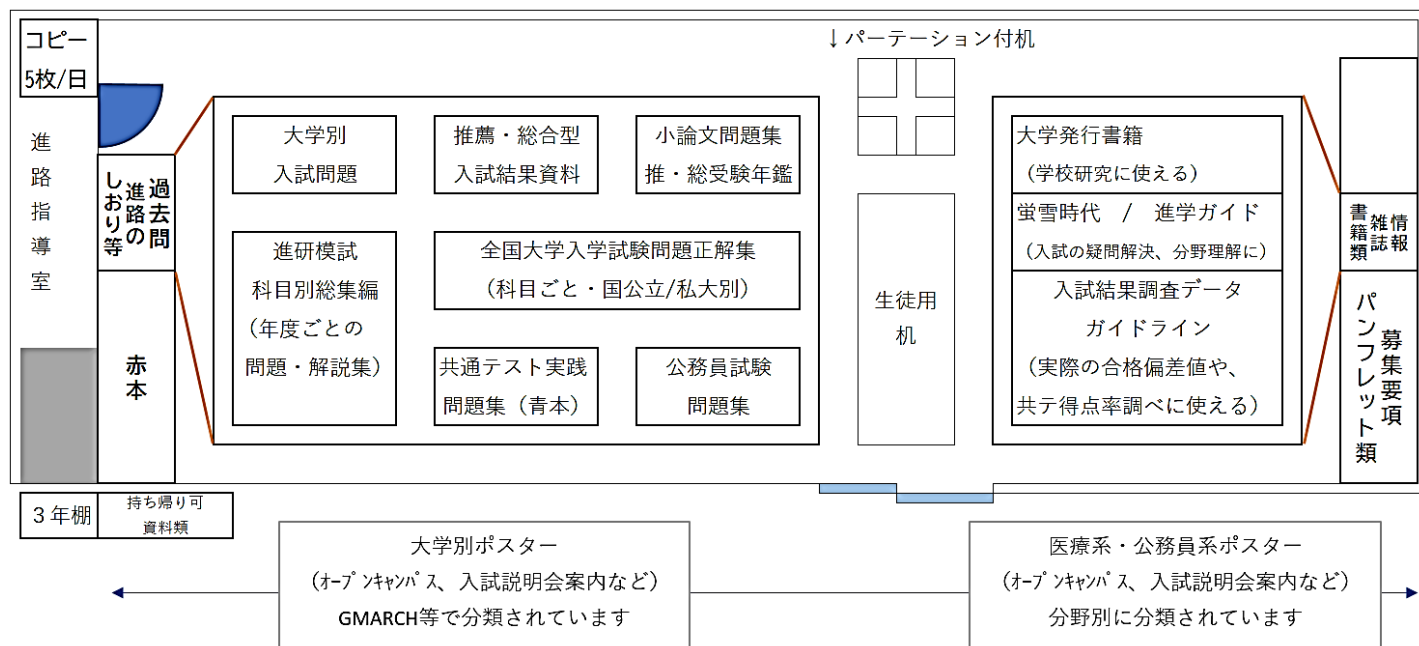
現時点で、判定が伸びないとしても、実際出願するまでおよそ2か月残っている。

学校によっては、A、B判定の学生数が少なく、実際の受験時にあきらめずチャレンジすればチャンスが広がることもある。情報を集め、先生方や家族としっかり相談の上、受験校を決定しよう。学校では、そのための情報提供を準備しているので、遠慮することなく不明点は担任の先生、学年の先生や進路指導室へ自ら申し出よう！！

全学年共通：振り返りは何のためにやるか、自分で意識を変える！

『判定が悪いから変えよう』『今はいいや』ではなく、自分がなりたいもの・やりたいことの為にこそ、学び続けられる。何度振り返ってもいい。【将来】の為に、前を向く材料にしよう。

真・図解 進路資料室案内＜詳細編＞



1階 化学講義室前で、大学パンフ配布中！1, 2年も利用ください！！